

広報

しんじょう

11
2005

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.575



北辰小児童が車いすをプレゼント(10月14日/神室荘)

こころを語り継ぐ.....2
国民年金.....4
広域組合決算.....5
「ぷらっと」オープン.....6
秋、満喫。.....8
江戸だより/いきいき新庄人.....9
しんじょう見聞録.....10
11月のお知らせ.....12
将来を見すえた人づくり.....14

市の木[モミ]



昭和59年の市制施行35周年を記念して市民アンケートから選ばれたもの。新庄の大地に深く根を張り、一直線にそびえるモミの姿は、未来に躍進する新庄の希望と愛情を表す。

新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
 E-mail info@city.shinjo.yamagata.jp

「ふるさと」を語り継ぐ

「みちのく民話まつり」は今年で二十年

昭和六十二年に始まった「みちのく民話まつり」。
これまで二十年にわたり民話の素晴らしさを発信し、
民話を通して交流を深めてきました。
第二十回を記念して今年も、年四回の「四季語り」を開催しています。



四季語り「春語り」(6月4日/民話茶屋)

民話の里づくり

民話(昔話・伝説)の宝庫と呼ばれる新庄・最上地域。「みちのく民話まつり」は、この土地に伝わる民話の素晴らしさを広く発信し伝承していくと始められました。

これまで、毎年二月開催の「新庄雪まつり」とともに「ウインターフェスティバル」イベントの一つとして、多くの市民や全国の民話愛好者に親しまれてきました。

平成十四年には、ふるさと歴史センターを訪問された天皇・皇后陛下を民話でお迎えしました。

十五年には、国民文化祭が県内の全市町村で開催され、新庄市では「民謡民舞の祭典」「文芸祭連句大会」「環境芸術の祭典」そして「神

室民話の里語りフェスティバル」を開催しました。語りフェスティバルには全国から約三千八百人ものお客様が訪れ、全国に「民話のふるさと・新庄」をアピールしました。

また、昭和四十六年の『新庄のむかしばなし』の発刊以降、民話絵本など数々の民話集・CDなどを発行しています。

民話は先人からのメッセージ

年々盛んになり、今やすっかり冬の一大イベントとして定着した「みちのく民話まつり」。その運営の中心となってきたのは「新庄民話の会」です。

「新庄民話の会」は、地域の文化遺産である民話を後世に伝えてい



四季語り「夏語り」(7月30日/ふるさと歴史センター)

こうと、五十三名が参加し、昭和六十一年に結成されました。発足当時から会長を務め、現在、山形県文化財保護審議会議長でもある郷土史家の大友義助さんにお話をうかがいました。

「昭和三十年代から四十年代にかけての日本は激変期にあり、人々の生活が大きく変化する中で昔語りも消えつつありました。地域文化の原点ともいえる民話を伝えていくと、呼びかけに賛同した方々と民話の会を足しました。

民話には、昔の人々の喜びや悲しみ、祈りや願い、生活の知恵などが込められています。

とりわけ、次代を担う子どもたちが健やかに成長し、心豊かな大



四季語り「秋語り」
(10月15日／国重要文化財・旧矢作家住宅)



人になってほしいという願いが伝わってきます。

また民話は、人間にとって何が大切か、人生においてどんな心得が必要かを密かに、しかし確固として物語っているように思います。

豊かな新庄・最上の民話を掘り起し、そこに秘められた先祖の願い、祈りを解き明かし、一つでも多く民話の心を伝えていきたいと思えます」

民話集「新庄のむかしばなし」は、大友さんが市内各地を回り採話し



春、夏、秋、 そして「冬語り」へ

たもので、昔話の伝承活動や教育に民話を生かそうという取り組みのきっかけとなりました。

民話の里づくりは、中心商店街でも行われ、「昔語りの聞こえる道」として民話の各場面のモニユメントが設置され、歩きながら民話を楽しめるようになっていきます。

また、市内六つの小学校にクラブ活動として民話クラブがあり、民話の会会員が指導しています。十年程前からは民話まつりにも出演し、語りを披露。多くの人に感動を与えています。語りを通して、子どもたちは民話からさまざまなことを学んでいます。

今年開催されている「四季語り」。来年二月二十五日には、ふるさと歴史センターで「冬語り」が開催され、民話の豊かな世界が繰り広げられます。

国民年金はあなたの生活を支えます

国民年金は明るく豊かな老後を送るために、また、いつ起こるかわからない万一の場合に備え、国民みんなで支え合う制度です。

老齢基礎年金

65歳になったとき

●年額 **794,500**円(満額)
(月額 66,208円)

20歳から60歳まで40年間
すべて保険料を納めた場合

65歳から生涯にわたり受けられます。納付期間が40年に満たない場合でも、保険料免除期間を含めて25年以上保険料を納めていれば、期間に応じて年金を受けることができます。

障害基礎年金

病気やけがで障害者になったら

●年額 1級 **993,100**円
(月額 82,758円)

2級 **794,500**円
(月額 66,208円)

年金額は障害の程度により異なります。扶養されている子がある場合は加算があります。20歳前の障害でも一定の条件で20歳から年金が受けられます。

遺族基礎年金

もしも夫に先立たれたら

●年額 **1,023,100**円
(月額 85,258円)

妻子が受けるとき
～子が1人の場合～

国民年金に加入している人が亡くなったとき、その人に生計を維持されていた子がいる妻、または子が受けることができます。子が18歳になった日以後の3月末まで支給されます。

国民年金は、日本に住む二十歳以上六十歳未満のだれもが加入しなければならぬ社会保険制度で、すべての人に生涯にわたり基礎年金が支給される制度です。老後や、病気がにより働けなくなり収入を得ることが困難になったときに、互いに支え合うことを目的としています。

国民年金には、老後に受ける老齢基礎年金、病気やけがで障害者になったときに受ける障害基礎年金、働き手を失ったときに残された配偶者や子どもが受ける遺族基礎年金の三つの基礎年金があります。

国が運営し、基礎年金受給額の三分の一は国税によりまかなわれています。個人年金や貯蓄などとは異なり、受給額は賃金や物価に応じてスライドするので、長期的な経済の変動で貨幣価値が変わっても年金の実質的な価値は守られ、老後の生活も安心です。

安全・確実な制度です

11月は
国民年金制度推進月間
です

みんなで支えましょう



ネッキーくん

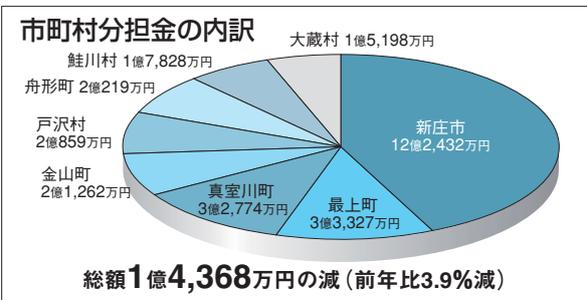
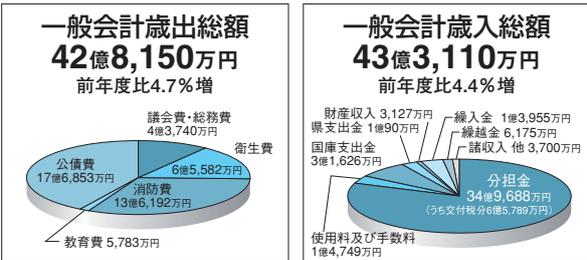
平均寿命が伸び、長寿社会になった現代。一方で、核家族化や少子化の進行により、家族間で扶養し合うことがますます難しくなっていく状況にあります。また、給与所得世帯が増加しており、定年後の継続した収入がなくなった場合、公的年金を受けずに個人の預貯金や家族の支えなどの自助努力だけで老後の安定した生活を維持することは、とても難しくなっています。

現在、六十五歳以上の高齢者がいる世帯の約九十七％が公的年金や恩給を受給しています。高齢者だけの世帯では、六割以上が収入を公的年金・恩給のみに頼っています。

公的年金は老後の生活を支える大切な制度です。年金を受けている世代だけでなく、保険料を納めている世代の皆さんが正しく理解し、この制度を支えていきましょう。

最上広域市町村圏事務組合 平成16年度決算から

10月、組合議会で16年度決算が承認されました。行財政改革の一層の推進により、15年度と比べ、歳入の市町村分担金(負担金)や、維持補修費など歳出面での大幅な削減を図りました。全体としては、衛生施設建設時借入金の繰上償還(約3億円)により、前年度決算額を上回りました。行財政改革をさらに推進し、今後も健全な財政運営に努めていきます。



分担金以外の主な歳入

- 使用料及び手数料 1億4,749万円
 - └ ゴミ処理手数料 1億1,361万円
 - └ 広域交流センター(ゆめりあ)使用料 2,320万円など
- 国・県支出金 4億1,716万円
 - └ 公共投資事業償還時補助金 3億767万円
 - └ 広域交流拠点施設費補助金 1億円など
- 基金繰入金 1億3,955万円
 - └ 減債基金繰入 1億円
 - └ ふるさと市町村圏基金繰入金 3,400万円など

一般会計の主な事業

- 消防・救急業務運営事業 14億782万円
- 広域交流センター(ゆめりあ)運営事業 7億3,338万円
- リサイクルプラザもがみ運営事業 5億363万円
- もがみグリーンセンター(し尿処理施設)運営事業 4億4,848万円
- エコプラザもがみ(ゴミ焼却施設)運営事業 3億8,032万円
- 最上衛生事業所(し尿処理施設)運営事業 8,598万円
- 教育研究センター運営事業 5,783万円

ふるさと市町村圏事業特別会計の主な事業

- 少年少女沖縄派遣交流事業 610万円
 - もがみ大産業まつり開催補助事業 191万円
- ◎詳しくは、最上広域市町村圏事務組合総務課へ。☎22-2674

国民年金Q&A

国民年金保険料 月額13,580円

◎ 年金は払い損で、将来もらえなくなるのでは？

A 平成十七年度の保険料で計算すると、生涯に納める保険料の総額は約六百五十二万円です。二十九年に固定となる予定の保険料一万六千九百円で計算しても約八百十二万円です。

◎ 収入がないので納められません。

A 収入が少ない、失業した、などの理由で保険料が納められないこともあると思います。前年所得により一年間(七月から翌年六月まで)納付を免除する制度があります。本人と配偶者、世帯主の三者の所得が基準以下であることが条件となります。また、学生や二十代の人を対象とした「学生納付特例」や「若年者納付猶予」の制度もありますので活用してください。

◎ 六十歳前ですが、すでに二十五年間保険料を納め、受給条件を満たしています。国民年金を納めなくてもいいですか？

A 六十歳までは保険料を納付しなければなりません。納付しない場合、障害年金や遺族年金が受けられない場合があります。将来受け取る老齢年金も未納期間に応じて減っていくことになります。

◎ 詳しくは、市民課国民年金室 ☎内線134、新庄社会保険事務所 ☎22-2050へ。

◎ 保険料を納めないまま四十歳になりました。今から納めても六十歳までに受給資格の二十五年を超えることができません。何か方法は？

A 六十歳までに老齢基礎年金の受給資格を満たせない場合は、六十五歳まで任意加入することができます。四十歳に加入すれば不足期間が五年なので、引き続き六十五歳まで保険料を納めれば年金は受けられます。昭和四十年四月一日以前に生まれた人は、七十歳まで任意加入できます。



市民活動の拠点をめざしオープン（10月19日×市民プラザ）

みんなの力が一つになる拠点（プラットフォーム） 「ぷらっと」がオープンしました

市民プラザに開設した市民活動交流ひろば「ぷらっと」は、地域社会の課題解決や発展に向け市民の皆さんが行うさまざまな活動をサポートする広場です。情報発信や交流ネットワークづくりを進め、市民・市民活動団体・企業と、行政が協働・連携を進める役割を担います。この「ぷらっと」を活用し、活動を発展させていく主役は、市民の皆さんです。

「ぷらっと」で できることは？

市民の交流のための
場所と機会を提供します

「ぷらっと」は、各種団体・サークル活動の目的であればだれでも自由に利用できます。交流・作業・情報スペースを有効に利用することで、各自の活動はもちろん、他の団体・サークルとの交流を深めることができます。

活動情報の収集と提供を行います

市民のさまざまな活動への助成や活動に必要な情報を積極的に提供します。また、市民の活動に関する情報を広く収集・整理し、ホームページなどでの情報発信を進めていきます。

団体および人材の育成に努めます

団体やサークルなど、市民の皆さんが活動をステップアップできる機会を増やします。また、その活動の成果が広く地域に還元されるしくみづくりを進めていきます。

市民の活動に関わる相談に
対応していきます

こんな事業・イベントを企画したい、もつと公益的な活動を行いたいなど、さまざまな市民の活動についての相談に応じます。

※皆さんの活動をお手伝いするため、職員が一名常駐します。「ぷらっと」はオープンしたばかりです。今後、皆さんからご意見をいただきながら、交流と情報発信の拠点となるよう努めていきます。

場 紹 介

市役所の仕事
会計課 編

会計課は、市の公金の出納業務を行う収入役直轄の課で、収入役のほか、職員6人体制です（現在、収入役は空席で、会計課長が収入役職務代理者になっています）。

○どんな仕事をしているの？

会計課では、税金などの収納に関することや、公金の支払いなど公金の管理をしています。市民の暮らしにも身近な関係にあり、会計課はいわば「市役所の中の銀行」のようなところ
です。

○具体的には？

大きく分けると、納められた税金などを整理する収納事務と公金を支払う出納事務があります。

【収納事務】

市に収められた市税や水道料金、市施設の使用料などを整理します。また、国・県からの補助金など市に入ってくるお金は、すべて会計課で管理しています。

【出納事務】

市税などの過誤納金の支払い事務のほか、公共事業や市施設・学校などの維持管理などでかかった費用

メールボックス利用団体募集!

利用団体間の連絡や文書・チラシの配布、団体あての郵便物・ファクスなどの一時保管場所として利用できます。また市からのお知らせや助成金情報などを提供します。

- 全40個(無料)
- 申し込み 備え付けの申請書で
- 受付 11月21日(月)から(先着順)

人材・グループバンクの登録募集

自分のできることを登録してみませんか。あなたやあなたの団体が、さまざまな市民活動を支援していく制度です。詳しくは、「ぶらっと」へ。



メールボックス



受付カウンター



インフォメーション・PRコーナー



交流スペース

どうぞご利用ください

- ①交流スペース(市民ホール)
- ②インフォメーション・PRコーナー
- ③ロッカー／まだ空きがあります
- ④印刷機／会報・チラシ作りはどうぞ
- ⑤作業スペース／パソコン・プリンタ・スキャナーが利用できます
- ⑥大判プリンタ／大きなポスターや垂れ幕などが印字できます
- ⑦紙折り機／案内状などを短時間で多量に折ることができます
- ⑧製本機(製本テープはり付けタイプ)
- ⑨ラミネーター／文書などの保存に
- ⑩インターネットコーナー／活動に必要な情報を検索できます
- ⑪メールボックス
- ⑫参考図書／随時増やしていきます
- ⑬パンフレットスタンド／イベント情報チラシや活動報告などに

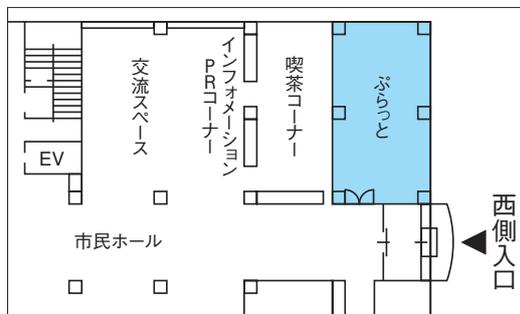
※コピー機、印刷機、プリンタ、製本機、ラミネーター、ロッカーの利用は有料となります。



インターネットコーナー

- 行政との協働に関する相談日
毎週木曜日
午前9時～午後5時
- 市民活動に関する相談日
毎月第2・4水曜日
午後1時～4時

「ぶらっと」見取り図



※利用日・時間一休館日(毎週金曜日)と土・日曜日を除く日の午前9時～午後5時(土日の利用を希望の方はご相談ください)

◎詳しくは、市民活動交流ひろば「ぶらっと」へ。☎FAX 23-6211
Eメール: plat@ic-net.or.jp

※公益活動の紹介は今回お休みします。



●午前8時30分～午後5時
市税や水道料金、保育料、市営住宅家賃などの支払いができます。
ただし、自動車税などの県税や国民年金保険料・所得税などの国税などはお取り扱いできませんので、ご注意ください。

収納窓口「営業のご案内」

【公金の管理】
市の保有する預金や有価証券などの財産の管理をしています。また、市指定金融機関などへの検査なども行い、適正な管理運用に努めています。

の支払いをします。なお、適正な支払いのための審査も会計課の重要な業務です。

第3回秋の花フェスタ コスモスまつり05& やまがた住宅フェア



(10月8日～9日/かむてん公園)

もがみ大産業まつり2005



にぎわう刈上げ市(10月8日～9日/ゆめりあ)

第12回市民健康福祉まつり



南部保育所の太鼓演奏(10月29日/市民プラザ)

十二
月
ま
で
の
期
間
、
演
劇
や
踊
り
な
ど
多
彩
な
催
し
が
開
催
さ
れ
て
い
ま
す
。

秋、満喫。



まちづくり

まちづくりにあなたの声を

市は、平成18年度から22年度までの市政運営の指針となる第3次振興計画・後期5カ年基本計画を策定しています。今後5カ年間にどのような施策や事業を実施すべきか、市民・有識者など20名の委員の方々に将来の方向性について議論していただき、後期5カ年基本計画の答申を受けました。この計画案についてご意見を募集します。



●募集期間 12月9日(金)まで

●計画案の閲覧場所(施設は受付でご覧になれます)

新庄市民プラザ ☎22-4200 わくわく新庄 ☎23-0197

萩野地区公民館 ☎25-2016 八向地区公民館 ☎26-2015

市立図書館 ☎22-2189 市役所政策経営課 ☎22-2111

※市ホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

●意見の提出方法

備え付け用紙に記入し、郵送、ファクス、メール、受付箱(各施設の受付に配置)などで

送付先/〒996-8501 新庄市沖の町10-37

新庄市政策経営課 ファクス22-0989

メール kikaku@city.shinjo.yamagata.jp

◎詳しくは、政策経営課企画政策室へ。☎内線241・242

健康メモ

救急時にあわてないために

事故や病気などの緊急時は、だれもがあわててしまうものです。家庭や職場で人が倒れ、意識がないなど重症の場合は一刻を争うため、「早い通報」「早い応急手当」が必要です。

まず、落ち着いてははっきりと「119番」通報することが大切です。応急手当は救急車が着くまでの手当てで、意識がないときは「気道確保」、無呼吸のときは「人工呼吸」、心停止のときは「心肺蘇生」、のどに物がつまったときは「異物除去」、出血時の「止血法」などがあります。いざというとき、あわてず行うため、応急手当の講習を受けておきたいものです。県が10月に実施したAED救急法講習会には47人が参加しました。

AED(自動体外式助細動器)は、重症の不整脈を起こした人に電気ショックを与え、心臓の動きをもとに戻す機器です。心電図を自動的に解析し、音声で操作手順が案内されるので、講習会を受講すれば操作できるようになります。現在、最上地区では、救急車はもちろん、市体育館と最上総合支庁ロビーに設置されています。



◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513～516

御家老の江戸だより

新庄の夏

◆新庄藩江戸家老澁谷盛興(さん) (浦和趣味の会連盟常任理事)

今年の夏は二週間に二度も新庄を訪れました。八月はもちろん新庄まつり。二五〇年祭と「江戸家老の国許大集合」があつて、皆さんと一緒に祭りを楽しみました。記念交流会の後、アビエス観覧席で記念パレードを見学しました。

西山に日が傾くころ、先頭を切つて萩野・仁田山鹿子踊が繰り広げられました。神輿渡御行列がそれに続き、すっかり辺りが闇に包まれたころ、いよいよ二十二台の山車が次々に登場。まつりのことは九月号に松田家老が詳しく紹介しておられますが、今回は二百五十年祭とあつて特にすれ違い・



逆行などの「復活けんか囃子」の妙技が披露されました。発電機を内蔵した山車の極彩色の照明が行き交

つて、それは息をのむ美しさでした。パレードが終わつても人の波は引きも切らず、通りのにぎわいは夜遅くまで続いたのでした。その興奮もさめやらぬ九月初旬、今度は全国連句新庄大会に参加しました。

行事はおなじみの吟行会から始まりました。本合海の芭蕉と曾良の陶像をはじめ、新庄藩主戸沢家墓所、鳥越八幡神社など、新庄の貴重な文化遺産を久々にじっくり見学。本番の連句実作会でも、全国から集まった五十名余りの仲間と旧交を温めながら、和気あいあいと連句を楽しみました。

この大会は今年で十七回目になります。一自治体の主催で連句の全国大会がこれほど長く続いているのは他に例を見ないそうです。これも新庄の皆さまの献身的なご努力と、温かいもてなしの心が伝わるからではないでしょうか。新庄を父祖の地とするわたしにとつても、誇らしくうれしいことです。最後に連句大会で私が作った発句をご披露しましょう。

「徳薄(とくはく)や行き交(まじ)うひとの国訛(なま)り」

ます」と花き栽培の魅力を熱く語ります。

「アメリカ留学はとても貴重な体験でした。海外の先進的な農業を研修する国の企画に応募し、全国から63人が参加。アメリカでの2年間は、仲間たちと共同生活しながら、3カ月間の語学研修に始まり、生産農家での実習、農業専門分野の研修などでした。日本とは耕作規模があまりにも違うので、栽培管理や経営の方法などが大きく異なりました。そのとき得た農業技術を生かす機会はなかなかありませんが、言葉が通じない中で、人間関係のコミュニケーションの大切さを学んだことや英会話ができるようになったこと、全国の仲間とネットワークができたことが今のわたしの財産になっています。

これからは、父の経験とわたしが得たネットワークなどの情報を生かしながら、だれからも良い花だと言ってもらえる花を作りたい。新庄・最上地区は、同年代でトルコぎきょうの栽培をしている人たちがとても多いので、先輩や仲間たちと新庄の花き栽培を盛り上げていきたいと思つています」と語る加藤さんには温厚ながらも強い意志が感じられます。



もっとうい花を作りたい

いきいき
新庄人

加藤卓也さん(泉田)

「いずれは農業を継ぎたいと思っていました。これからは稲作よりも畑作だと思っていたので、父がやっていた花作りに興味を持ち、農業大学校で花きを学びました」と花の栽培を始めたきっかけを話す加藤さんは、9月に開催された「もがみフラワーフェスティバル'05」にトルコぎきょうを出品し最優秀賞を受賞しました。

「農業大学校を卒業してから2年間アメリカに留学し、海外の農業経営や栽培方法を学びました。3年前に帰国し就農。父がビニールハウス6棟でキュウリと花を栽培していたのを花だけでやっていこうと勧め、今では約6,000㎡にハウス10棟でトルコぎきょうやストックなど4種類の切り花を栽培しています。

特にトルコぎきょうの栽培はとても面白くて、趣味の一部だともいえます。トルコぎきょうの栽培の歴史は浅く、形や栽培方法が年々変わります。また、切り花の中ではかなり難易度が高く、出荷するまで半年かかり失敗した場合、経営面でリスクが大きいことは確かです。しかし、だからこそ半年かけて作り上げていくというやりがいを感じ

聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲長寿100歳のお祝いに賀詞と祝い金を贈呈(10月31日)



▲大阪「御堂筋パレード2005」で新庄まつりをPR(10月9日/大阪市)



▲にぎわいを見せた100円商店街(10月8日/北・南本町商店街)



▲県図書館大会で松田けんじさんが講演(10月13日/市民プラザ)



▲市民雪セミナー「雪国に地震がおきたら」(10月15日/雪の里情報館)



▲駅前通り商店会主催の青空市から市に寄付(10月26日/市役所)

祝・長寿100歳

今野照子さん(大手町)が満100歳を迎え、市長から賀詞とお祝いが贈られました。明治38年生まれは今野さんは若いころ、医師だった夫と仙台市や関東などを転勤で回り、戻ってからは、ずっと新庄で暮らしています。大らかな人柄で、好き嫌いなく何でも食べることが長寿の秘訣。新聞を毎日読み、天気の良い日には散歩にも出かけています。平成9年に制定された長寿祝いを受けた方は、今野さんで17人目となりました。

大阪でまつりをPR

世界22カ国を含む85団体1万人が参加した大阪市「御堂筋パレード2005」。平成3年以来2回目となる新庄市からは、上金沢町若連の山車・風流「七福神(宝船)」と仁間囃子若連、市長など76人が参加。関西山形県人会と大阪市信用金庫の方々が引き手となり、総勢230人で約3.3キロをパレードしました。御堂筋パレードのため両側から見えるよう配置された七福神が夕闇に照らし出されると、沿道の観客から盛んに拍手が送られました。

新庄は私の原点・原風景

山形県図書館研究大会が開催され、イラストレーター・松田けんじさんが講演しました。松田さんは「5歳から高校卒業まで住んだ新庄は、わたしにとってあらゆる原点・原風景。子どものころ夢中になった本は今でも大事です。子どもに読書を習慣づけるのは図書館の大切な役割。大胆な発想で知性を守ってほしい」と述べました。

青空市から寄付

駅前通り商店会(阿部浩悦理事長)は、今年10回開催した「ふれあい青空市」の収益金を障害者のために役立ててほしいと市に寄付しました。昨年に続いての寄付です。



栄光をたたえて

- 第60回国民体育大会秋季大会
ボクシング少年ライトフライ級準優勝柏倉圭吾
(新庄神室産業高)
- 第43回新庄ロードレース大会
男子／小学3年生③齋藤大慎(新庄)小学6年生③小松雅(日新)一般③大場雄介(多門町)
女子／小学3年生②佐藤咲希(萩野)小学5年生①小野茉莉(萩野)小学6年生①奥山莉菜(萩野)高校生①外崎理紗(新庄南)一般②外崎留美子(玉の木町)
- 2005新庄いものこマラソン
Bコース(3km)①小林涉(木栄町)
- 第11回新庄市民ゴルフ大会
総合①信夫良一(鳥越)シニアの部①五十嵐貞夫(日の出町)レディースの部①伊藤洋子(畑)
- 第13回新庄市スポーツ・レクリエーション祭
(1位のみ)
グラウンドゴルフ／佐藤昭三郎(中道町)ターゲットバードゴルフ／男子五十嵐二郎(小田島町)女子池北しげ子(大手町)ソフトバレーボール／男子西沢ソフトバレー女子BLUE FLAG A混合根知和ラージボール卓球／1部今野静男(鳥越)宮澤宮子(宮内町)2部佐藤誠(千門町)石川カズ子(末広町)ペタンク／田中正(十日町)荒川仁(北町)高橋道子(桧町)バウンドテニス／シングルス鈴木好子(栄町)ダブルス佐藤俊子(大町)渡辺悦子(住吉町)
- 第21回県児童生徒版画作品展
奨励賞多勢恵(新庄小)
- TBC(東北放送)子ども音楽コンクール山形県大会
優秀賞新庄小学校
- 第44回県少年の主張大会
優良賞渡邊絵理(新庄中)
- 第12回全国高校デザイン選手権大会
市民賞新庄神室産業高校
- 牛乳・乳製品利用料理コンクール県大会
最優秀賞齋藤理花(新庄南高)

人権擁護委員

新庄市人権擁護委員に、渡辺庄二さんが10月1日付けで委嘱されました。



▲179人が参加、レース後にもものこ汁が振舞われた新庄いものこマラソン(10月10日/山屋地区)



▲最上川を吟行レークを交えた選評が行われた第5回芭蕉乗船の地国際俳句大会(10月2日/本合海地区)



▲改修されたコースを元気に走った第30回自転車競走新庄大会(10月10日/新庄サイクルスポーツセンター)



▲わらすこ広場5周年を祝って中部保育所が「やんちゃ太鼓」を披露(10月23日/わらすこ広場)



▲環境との共生シンポジウムで角沢小が「みかぐら」を披露(10月19日/ゆめりあ)



▲多くの市民の善意と協力でエコトイレが完成(10月22日/李蔵山)

ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

11月は児童虐待防止推進月間です
子育てや子どもに関する相談はいつでもどうぞ
◎福祉事務所児童支援室 ☎内線547、
子育て支援センター ☎22-5115

募集

甲子園への夢、発進!

少年硬式野球チーム、新庄リトルシニアは、今年のリトルシニア東北連盟秋期新人東北大会でベスト8(41チーム中)に輝きました。全国大会制覇をめざし、ともに汗を流しませんか。

▼対象 最上地区内の小学6年生～中学3年生(性別を問いません)

▼練習日 月曜日午後7時～9時(市民球場)、木曜日午後6時～9時(福田運動広場)、土・日曜日午前9時～午後4時(高校グラウンドなど)

☎090-4556-4958
問 新庄リトルシニア事務局・森

女性の採用・登用に 取り組む企業

山形労働局では、女性の採用や職域を拡大し、女性管理職登用に取り組んでいる企業を表彰しています。詳しくは厚生労働省のホームページでどうぞ。

▼応募期限 11月30日(水)

☎023-624-8228
問 山形労働局雇用均等室

ボランティア365

▼対象 18歳～30歳の人

▼期間 約1年間

▼内容 日本各地の教育・福祉などに関わる団体・機関でのボランティア活動

▼申し込み 12月1日(木)まで

☎03-3460-0211
問 日本青年奉仕協会

日本語指導ボランティア スキルアップセミナー

▼対象 指導歴3年以上の人

▼とき 12月11日(日)午後1時～5時

▼ところ 市民プラザ

▼内容 日本語教室の実践的手法

▼講師 梶川明子氏

▼受講料 無料

▼申し込み 11月30日(水)まで

☎023-647-2560
問 山形県国際交流協会

お知らせ

市道の交通規制

舗装工事のため市道山片町仁間線の一部未舗装路が通行止めになります。

▼とき 11月21日(月)午前8時

小児救急講習会

○対象 未就学児童の保護者、乳幼児救急に関心のある人

○とき 12月1日(日)午後1時～3時30分

○ところ 市民プラザ小ホール

○内容 講演/三條医院小児科医・三條加奈子氏、心肺蘇生法実技講習/最上広域消防本部救命救急士

○定員 先着50人

○申し込み 11月25日(金)まで

※無料託児あります(予約制)。

◎参加無料です。詳しくは、最上総合支庁保健企画課へ。 ☎22-0126



主要地方道新庄戸沢線の 通行規制

戸沢橋補修補強工事のため全面通行止めになります。

▼期間 11月7日(月)午前9時～12月11日(日)午後5時

▼規制箇所 戸沢村大字名高地内「戸沢橋」

☎28-7748
問 最上総合支庁道路計画課

支障木を利用しませんか

県管理河川の支障木の撤去と有効活用のため立木を払い下げます。伐採は国有地内に限り、民有地と隣接する場合は立会などにより了承を得てください。

▼期間 11月～3月

労災未加入のペナルティ が厳しくなりました

11月から労災保険の未手続中に労災事故が発生した場合、さかのぼって保険料を徴収するほかに、労災保険から給付を受けた金額の全額または40%を事業主から徴収することになりました。未加入の事業主は速やかに手続きをお願いします。

☎22-0227
問 新庄労働基準監督署

個別労働関係紛争の 無料あっせん制度

労働者と事業主との間のトラブルを話し合いにより解決す

わたしのまちについて “もっと”考える会フォーラム

日ごろ感じている「まちの課題」などをともに考え、人に伝える大切さを一緒に学びませんか。どなたでもどうぞ。

- とき 12月10日(土)午後1時～3時30分
- ところ 市民プラザ大ホール
- 内容 寸劇「発言する女は、でしゃばり?」劇団さんかくしかく、講演「“伝える”ということ」山形短期大学教授・阿部康子氏など
- 参加費 無料
- ※無料託児あります(要予約)
- ◎当日、会場へ直接どうぞ。詳しくは、市民プラザへ。 ☎22-4200

2006年版やまがた 県民手帳を販売します

- とき 11月25日(金)から
- ところ 市役所東庁舎1階情報統計室
- 価格 600円
- ◎詳しくは、政策経営課情報統計室へ。 ☎内線426

出張無料税務相談

- とき 11月25日(金)午前10時～午後3時
- ところ 市役所西庁舎市民相談室分室
- 内容 所得税、相続税などの国税
- 対応 仙台国税局税務相談室酒田分室
- ◎詳しくは、税務課課税室へ。 ☎内線142



国際平和ポスター展

○11月24日(木)午後4時～29日(火)午後5時
○ゆめりあ花と緑の交流広場
◎新庄ライオンズクラブ ☎23-0102

11月のお・知

催し

こころのフェスティバル作品展

- とき 11月21日(月)～23日(水)
- ところ ゆめりあ花と緑の交流広場
- 内容 心の病気で作業療法している人や作業所などで社会復帰をめざす人が作った絵画・書道・陶芸・木工細工など
- ◎入場無料です。詳しくは、新庄明和病院へ。 ☎22-2047

「四月の雪」(字幕版)

- ～第62回市民映画劇場～
- とき 11月24日(木) 午後2時～、7時～(上映115分)
 - ところ 市民プラザ大ホール
 - 前売券 一般1,300円、学生1,200円
 - ※1回目のみ託児あり(1人300円/予約制)
 - ◎詳しくは、プライマルプロジェクトへ。 ☎22-6155

第40回 新庄写真公募展

- とき 11月26日(土)～30日(水) 午前9時～午後6時(30日は午後5時まで)
- ところ 市民プラザギャラリー
- ◎詳しくは、新庄写真連盟・明石へ。 ☎090-8610-7572

「川はともだち」
200回記念特別開放講座

- とき 11月27日(日)午後1時～4時30分
- ところ 市民プラザ大ホール
- 内容 「最上川と義経伝説」尾花沢市歴史文化専門員・梅津保一氏、「地域を元気づけた事例」田沢湖高原リフト代表取締役社長・若杉清一氏、囃子演奏など
- ◎入場無料です。詳しくは、新庄河川事務所へ。 ☎22-0251

第11回最上地域障害者週間記念事業
一歩²(いっぽいっぽ)フェスタ2005

- ～手をつなごう 輝く未来へ～
- とき 12月2日(金)～3日(土)
 - ところ ゆめりあ花と緑の交流広場
 - 内容 絵や写真の展示、製品の展示即売、ギターと歌声・手話によるライブ演奏など
 - ◎詳しくは、最上総合支庁福祉課へ。 ☎22-1111

交通遺児育成基金
交通遺児が拠出金を払い加入すると、国などの援助金を加え、満19歳まで3カ月ごとに育成給付金が受けられます。
▼加入対象年齢 10歳まで
▼拠出金 52.5万円～700万円
▼給付総額 640万円

内閣総理大臣名の書状を贈呈します
戦時衛生勤務に服された方
▼対象 慰労給付金受給者を除く旧日本赤十字社救護看護婦および旧陸海軍従軍看護婦
▼申し込み 19年3月31日まで

被害者支援センター
犯罪や交通事故などの被害者とその家族の精神的ケアを目的に開設しています。
▼相談日 毎週火・木曜日、毎月第1土曜日 午前10時～午後4時
▼相談電話 023-642-7830
◎被害者支援センターやまがた ☎023-642-3571

建設業退職金共済

建設現場で働く人のための退職金制度です。加入できるのは建設業を営む事業主です。
▼掛金 日額310円
◎建設業退職金共済山形県支部 ☎023-632-8364

個人事業者の消費税簡易課税制度

前々年の課税売上高が5,000万円以下の個人事業者は、消費税の「簡易課税制度」を選択すると、課税売上高から納付税額を計算できます。
▼届け出 12月31日(土)まで
※振替納税が便利です。
◎新庄税務署 ☎22-5111

恩給欠格者・引揚者の方

▼対象 旧軍人軍属で恩給などを受給していない方または遺族、終戦に伴い本邦以外の地域から引き揚げてきた方
▼申し込み 20年3月31日まで
※いずれも請求書類は福祉事務所にあります。
◎福祉事務所生活支援室 ☎内線541-543

るお手伝い(あつせん)をします。
◎山形県労働委員会事務局 ☎023-630-2793

交通遺児育成基金
◎0120-16-3611

灯油漏れ事故に注意!

毎年ホームタンクなどからの灯油の流出事故が発生しています。灯油の流出は重大な環境汚染につながる場合があります。
○事故を未然に防ぐには
①タンクから他の容器に移しかえる際は絶対に目を離さない、②タンクのバルブの閉め忘れがないか確認する、③タンクや配管に亀裂や破損がないか確認する、④落雪する所にタンクを設置しない、⑤定期的に灯油の残量を確認する
○多量に灯油をこぼしたときは
敷地外や水路・側溝への流出防止の応急処置を行い、ただちに関係機関へ連絡してください。
◎詳しくは、最上広域消防本部 ☎22-7521、新庄市環境課環境保全室内線432へ。

国保30歳代人間ドック

とき	定員	
	男性	女性
12月3日(土)	5人	—
12月5日(月)	5人	5人
12月6日(火)	—	5人

◎対象 国民健康保険加入者(昭和41年4月2日～50年4月1日生まれ)で8月に受診していない人
◎受付 女性/午前7時15分～7時45分、男性/午前7時45分～8時15分
◎ところ 最上検診センター
◎内容 基本健診、胃がん・胸部・大腸がん・乳がん検診
◎負担金 男性5,700円、女性8,800円
◎申し込み 11月21日(月)まで
※追加検診として、子宮がん検診(2,100円)、乳房エックス線撮影(1,400円)があります。
◎詳しくは、健康課国保医療室へ。 ☎内線512-517

「将来を見ずえた人づくり」

地域は、子どもにとって大切な交流と学びの場です。今回と次回は、「地域の子どもは地域で育てる」をテーマに青少年の健全育成に取り組んでいる地区を紹介します。今回は、松本子供会からです。

松本子供会は、地区の範囲も広く、児童数五十一人と大所帯です。子どもたちにとって、地域でいろいろな人とかかわりをもつ機会は貴重です。松本子供会の子どもたちと地域の人たちのふれあいの様子を紹介します。

お年寄りと輪投げ大会

老人クラブの人たちが毎月一日と十五日に安全指導のため道路に立っている姿を見たことがある人も多いと思います。子どもたちを見守り、早朝から笑顔であいさつをしてきている姿には頭が下がります。そんな老人クラブの人から輪投げ大会への招待がありました。昨年は子どもたちだけの参加でしたが、今年は親も一緒にどうぞという提案です。

「楽しい交流を通して仲良くなれば、自然と笑顔であいさつできるようになるでしょう。そうして、みんなで盛り上げてより良い松本

にしていきたいでしょう。そういう人生の先輩からの思いを受けて、今年十一月六日に楽しく交流しました。

最上学園祭りへ参加

松本子供会の高学年の児童は、毎年最上学園祭りにも招待され、花笠踊りを披露しています。日新小学校では、五年生が運動会のように花笠踊りを踊るので、学園祭りにさらに練習して発表しているのです。

今年八月五日に行われました。子供会長の森君のあいさつと五・六年生の力強い踊りに大きな拍手が送られ、子どもたちからは満面の笑みがこぼれました。また、園生とふれ合えるゲームもあり、初めははにかみながらも、次第に打ちとける様子が見られました。ごほうびにお菓子や食券などをもらって喜びも倍増。これも楽しく貴重な交流の場となっています。



廃品回収を呼びかけ

昨年度末、地域の人から「以前は子どもたちが家々を回って廃品回収を呼びかけていたなあ」という声を耳にしました。そこで、今年度は、子どもたちが事前に廃品回収を呼びかけることになりました。始めてみると、子どもたちの受け応えが上手になるのが目に見えてわかりました。また、当日、車で取りに行ったところ、「子どもたちが運んでくれたっけな」と笑顔で空の一輪車を押しながら話してくれる人もいました。きつと、廃品を運ぶ途中に、子どもたちとのほほえましいやり取りがあったのでしよう。

地域の人たちとの数々の交流が、確かに子どもたちを育てています。そして、わたしたち親をも。

(松本子供会)

栄光を たたえて

■最上地区中学校新人体育大会

- 「バスケットボール」男子①新庄③明倫女子①明倫②萩野③新庄ソフトテニス②男子／団体②萩野③明倫／個人③山科俊二・近岡利樹(明倫)小山剛広・今田雄大(明倫)女子／団体②明倫③萩野 新庄／個人②後藤美紅・佐々木麻衣(明倫)③森彩貴・長谷川瑛里(新庄)阿部志穂・大泉かおり(新庄)「ソフトボール」女子②新庄③日新「剣道」男子／団体②新庄／個人①羽賀博都(日新)②阿部大世(新庄)③菅原主水(新庄)1年生の部③武田和樹(新庄)伊藤勝博(日新)女子／団体②新庄③日新／個人③高橋成美(新庄)1年生の部③岸千寛(日新)小関陽子(新庄)「サッカー」①萩野③日新「バドミントン」男子／団体①新庄②明倫／個人／シングルス①佐藤和樹(新庄)②小野将義(新庄)③柳谷泰志(明倫)／ダブルス①佐藤潤也・宮岡翔也(新庄)②星川巨輝・星川尚之(新庄)③月野椋・佐藤勇輝(日新)女子／団体①日新②明倫③新庄／個人／シングルス①小林真奈美(日新)②柿崎恵理(新庄)／ダブルス①山科光紗・阿部早希子(明倫)③小関真利菜・芳賀真以子(日新)高野萌以・八矢桐佳(新庄)「卓球」男子／団体③日新／個人②門脇泰志(日新)③高橋一生(日新)女子／団体②日新／個人②大場奈々絵(新庄)③石川玲美(新庄)「柔道」男子／団体①日新A／個人60キログラム級②鈴木浩紀(日新)66キログラム級③小田島直冬(日新)73キログラム級①阿部貴顕(日新)81キログラム級①今田卓耶(明倫)②今井智紀(日新)③佐藤真人(新庄)90キログラム級②井上大輔(萩野)90キログラム級①金藤拓馬(日

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『新聞がなくなる日』

歌川 令三 著

新聞が届くことから始まる一日、インクの匂いと紙面を開くバサバサという音。それが私たちの生活から消えてしまうかもしれない。アメリカや韓国ではもう紙の新聞からの離脱が始まっている。「新聞はなくなってほしくない」と願う著者の、それでもこの世に永遠のものはなく、宅配型日本の新聞はいずれ消えていくというジャーナリズム論。



●今月のテーマ展示●

『海外で暮らす』

物価が安い、気候は温暖、医療は万全、年金でおつりがくるなど、いいことづくめのように言われた老後の海外暮らし。今月は、海外での生活に関する本を展示します。どこの国が暮らしよさそうか、お楽しみください。

新着図書

- ◆ ぼくちカレーライス ……つちだのぶこ
- ◆ ねずみくんとかくれんぼ ……上野 紀子
- ◆ ルラルさんのほんだな ……いとうひろし
- ◆ おばけとしゃかん ……デイビッド・メリング
- ◆ せかいいちおいしいレストラン…あんびるやすこ
- ◆ にぎやかな天地(上・下)…宮本 輝
- ◆ ツキコの月 ……伊集院 静
- ◆ 戦国北条一族 ……黒田 基樹
- ◆ ラストレター「1リットルの涙」亜也の58通の手紙 ……木藤 亜也
- ◆ お狂言師歌吉うきよ暦 ……杉本 章子
- ◆ アンボス・ムンドス ……桐野 夏生
- ◆ 逆襲の地平線 ……逢坂 剛
- ◆ 高野優の子連れ地球大陸大作戦
ハワイ編 ……高野 優
- ◆ 恐怖の存在(上・下)…マイケル・クライトン
- ◆ 筆筒のなか ……長野 まゆみ
- ◆ ドラえもん短歌 ……柊野 浩一
- ◆ 縫わずにできる!通園・通学バッグと小物 ……寺西恵里子
- ◆ ハルとナツ-届かなかった手紙- 青木 邦子
- ◆ 決断力 ……羽生 善治
- ◆ 柳生薔薇剣 ……荒山 徹
- ◆ 土恋 ……津村 節子
- ◆ シャドウ・ダイバー ……ロバート・カーソン
- ◆ まぼろし ……生田 紗代
- ◆ 最上今昔写真帖 ……郷土出版社
- ◆ オテルモル ……栗田 有起
- ◆ 江戸時代論 ……佐々木潤之介
- ◆ ファッションファッション マインド編…山田 詠美
- ◆ ちになるまで待って ……森 博嗣
- ◆ '05年版ベストエッセイ集 片手の音…文藝春秋社

●開館時間 午前10時～午後6時
●休館日 毎週月曜日、祝日、年末年始

いざというときに備えましょう

～市総合防災訓練～

十月二十二日、角沢地区を中心に市の総合防災訓練を行いました。想定は、一年前に起きた新潟中越地震と同規模で、新庄盆地断層帯を震源とするマグニチュード7.1の直下型地震。震度6強で建物は倒壊し、多数の市民が重軽傷を負い、道路の亀裂や電気・ガス・水道などライフラインにも被害を受け、各地で火災が発生したという内容です。

地区住民や消防団など総勢六百六十人が参加。消防団による一斉放水、角沢小学校での児童・住民による避難訓練と初期消火訓練、県消防防災ヘリコプター「もがみ」による緊急物資搬送と重症者の救命運搬訓練など、実際さながらの訓練に参加者は真剣に取り組みました。消火訓練をした参加者からは「実際に火を見たらちょっとあわててしまったが、教えられたとおりにできました。なかなか消火器を使う機会がなかったので、今回の訓練に参加して良かった」と感想が聞かれました。



防災マニュアルはあっても、場所や地区、家庭によつて危険個所や避難方法は違ってくる。また、災害時に危険から逃れるためどうすればよいか、何が本当に必要か、連絡はどつするかなど、それぞれの家庭や職場でみんなで話し合い、いざというときに備えましょう。

- 新) ②笹貴裕(日新) ③小田島圭吾(日新)
- 新) 三川颯(日新) 女子/団体 ③日新
- 個人 52キロ級 ②阿部千里(新庄)
- 57キロ級 ②大場美咲(日新) ③石田尚子(新庄)
- 63キロ級 ②高山美咲(日新)
- ③伊藤史佳(秋野) 海藤真琴(秋野)
- 70キロ級 ②叶内亜美(秋野)
- ③新庄(相撲) 団体 2部 ②日新/個人 1部 ③金藤拓馬(日新)
- 今田卓耶(明倫) 2部 ③八鍬雄基(日新)
- 陸上 男子/総合 ③新庄/個人 1年 1000m
- ①鎌田卓(新庄) ②片桐史登(秋野) 1年 2000m
- ②村岡敬太(新庄) 共通 800m
- ①田中亮(新庄) 共通 走高跳 ②柿崎裕平(新庄) 共通 400mリレー
- ③新庄(鎌田卓、高嶋恭、小山内純平、長南康太) 女子/個人 1年 1000m
- ①白崎怜子(新庄) 1年 2000m
- ③八矢桐佳(新庄) 2年 2000m
- ③渡辺魅久(明倫) 共通 800m
- ③今田弥咲(新庄) 共通 走高跳 ②奥山真美(秋野)
- 共通 400mリレー ①新庄(八矢桐佳、今田弥咲、齋藤明日香、白崎怜子)

かつろく思い出の四季

朝市



を持ち寄って、路上に店を開くのだ。安くていきのよいのが人気を呼び、たいへん喜ばれた。

絵〓三条正美、文〓笹喜四郎(昭和六十一年新庄市発行)

昭和五年、米をはじめ農作物は大豊作であった。しかし、価格は大暴落して、村落ではたいへん困った。豊作貧乏という言葉さえ、流行した。

そこで、旧地方事務所通りの「大手」に、夜の市場を立てることが許された。本町には朝市が立った。農家の人たちが、野菜や豆、芋や卵など

見・所・探・訪

新庄市エコロジーガーデン

～「原蚕の杜」～



元は、蚕糸学の権威であり新庄市名誉市民第1号となった平塚英吉(元東京帝国大学教授)の尽力により誘致された国の研究機関「新庄原蚕種試験所」であった。昭和9年の開設以来、長い間、蚕や桑の研究が行われてきたが、東北農業試験場などへの変遷の後、平成12年3月に閉所となった。平成14年に、人間と自然の共生が体感できる空間として、体験・交流できる公園に生まれ変わった。多くの樹木に囲まれ趣のある園内には、「玉川大学新庄バイオマスセンター」や農産物直売所「産直まゆの郷」がある。

9 月末現在の新庄人

40,947人(41,353人)

女	21,306人(21,537人)
男	19,641人(19,816人)
世帯数	13,449世帯(13,498世帯)

9月の異動

出生	32人(32人)
死亡	26人(28人)
転入	62人(97人)
転出	88人(113人)

※()は1年前の住民基本台帳

表紙 の 写真

車いすを プレゼント

～北辰小学校児童たち～

2年前から、環境教育の一環として、リサイクル運動を展開してきた北辰小学校。地域の協力のもと、全校児童で集めたアルミ缶やプルタブの代金で、子どもたちは「元気に動かしてください」とお年寄りに車いすをプレゼント。感謝の拍手の中、感激して涙ぐむ人も見られました。

